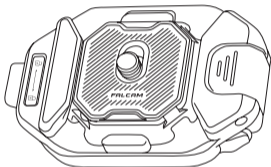


# FALCAM



**Backpack V2  
F38 Quick Release**

[falcam.jp](http://falcam.jp)



## 同梱リスト

### F38 Quick Release for Backpack V2

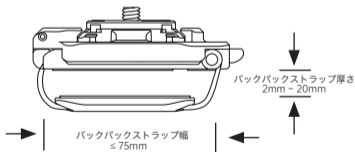
F38 Quick Release for Backpack V2	X1
Lanyard-M	X1
H2.5&T6 Dual-purpose Wrench	X1

### F38 Quick Release Kit for Backpack V2

F38 Quick Release Kit for Backpack V2	X1
Lanyard-M	X1
Nylon Locking Gasket	X1
Stainless Steel Locking Gasket	X1
H2.5&T6 Dual-purpose Wrench	X1

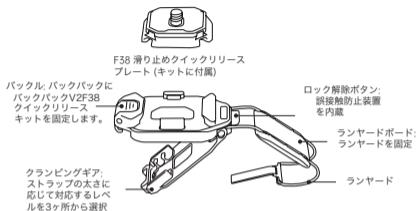
## 02: 使用説明書

### クランプ範囲:



ランヤード-Mにフィットするストラップ幅 ≤ 80mm (必要に応じて交換)

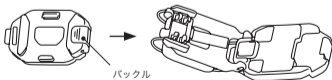
## コンポーネント:



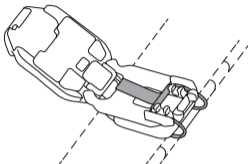
## 設置および操作手順:

バックパック V2 用 F38 クイック リリース キットを調整または取り付けの場合は、操作する前にカメラやその他のデバイスをバックパックから取り外す必要があります。

1. 右側のバックルを内側に押してロックを解除し、本体を開きます。



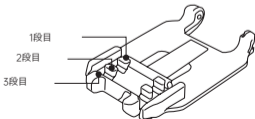
2. ギアからランヤードを取り外し、ランヤード ボードをストラップの周りに配置して締めます。



3. ランヤードを強く引っ張って、内側のギアにできるだけしっかりと差し込みます。締めた後、ランヤードのテールウェビングをギアプレートに平らに置きます。ギアプレートには3段階のガイドスロットがあり、内側から順に、それぞれ1段目、2段目、3段目です。

注記：

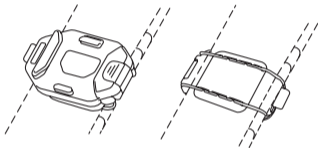
ランヤードをギアに入れるときは、ランヤードをガイド スロットに沿って配置する必要があります。



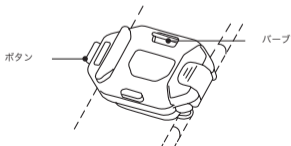
4. バックパック V2 の F38 クイック リリースを押すと、バックルが自動的にロックされます。

注意:

- 1) 締め付け後に緩みがある場合は、ランヤードを内側のギアに合わせて調整する必要があります。ベースが固定できない場合はランヤードを外側のギアに調整する必要があります。
- 2) ランヤードボードをストラップとベースの中心に設置することで、取り付けの安定性が高くなります。



5. 左ボタンを押してロックを解除し、バーブを収納します。



6. 滑り止めクイックリリースプレートを使用して機器をスライドさせて押し込むと、バーブが機能してクランプされます。

注記：

1) 滑り止めクイック リリース プレートまたは FALCAM カメラ ケージを付ける場合、バーブを機能させ固定することを確認する必要があります。 ハーブが機能していない場合は、片側だけの取り付けになっているなどの状況が発生する可能性があります。 その様な状態ではロックが完全にされていないため、カメラが外れてしまいます。

2) すべてのクイックリリースプレートがバックパック V2 用 F38 クイックリリースに取り付けできるわけではありません。 バーブが正常に機能することを確認してください。

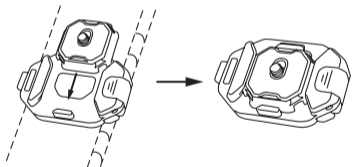
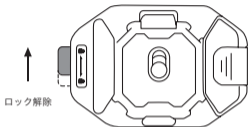
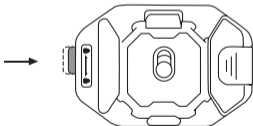


図:

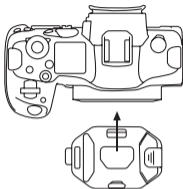
1. ボタンを上押しして、誤接触防止装置のロックを解除します。



2. ボタンを押してカメラプレートのロックを解除します。

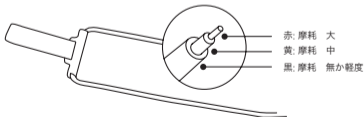


3. カメラを引き上げます。



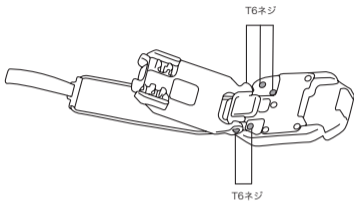
### ストラップの交換:

摩耗状態をより適切に判断できるように、この製品のストラップには警告デザインが含まれています。摩耗後に黄色のワイヤーが見えるようになった場合や、より幅広いストラップを使用する必要がある場合は、ランヤード-Mに交換できます。

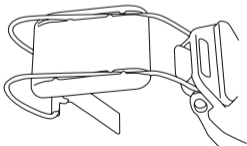




1. T6 レンチを使用して、図に示されているネジを取り外します。

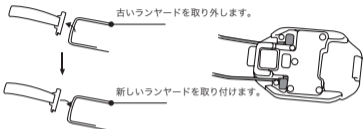


2. ランヤードをスロットに沿って引き出し、ランヤードボードを取り外します。

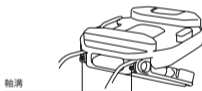


3. 損傷したランヤードを取り外し、予備のランヤードを所定の位置に取り付けます。

注意: ランヤードのロープヘッドは最大 40kg の力に耐えることができますが、範囲外の場合はランヤードが滑る危険があります。



4. T6 レンチを使用して、取り外したネジを元に戻して固定し、ギアボードの軸溝にランヤードを設置します。



5. ランヤードをスロットに沿ってランヤード ボードに固定します。

